

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	商業振興共同施設設置等事業費補助事業				会計	款	項	目	大	小
					01	07	01	02	02	52
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）			主管課	商工振興課				
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化			主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内商業団体	意図	商業環境を整備することにより、安心して買物ができる魅力ある商店会をつくり、商店会への来客数を増やす。
事業内容	市内商業団体が実施する商店街のアーケードなどの商業共同施設の設置に対し、予算の範囲内において、補助金を交付することにより、人が集う活気あふれる商店街をつくる。			
事業開始から現在までの状況変化	商業環境を整備することにより、商店会のイメージアップと商店会の活性化を図ることを目的に開始された。商店会によっては街路灯等の老朽化により付け替えを実施する時期が来ているが、高齢化等による廃業に伴う会員減に伴う資金不足等から、単独維持が困難な状況にある。また、近年は商店街の安心安全の観点から防犯カメラ設置の需要もあり、補助の継続は必要である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	整備した街路灯等の数	3	14	44	基	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						街路灯の電気料金の後年度負担を軽減するため、省エネ（LED）化への改修促進を図った。平成21年度～平成23年度については、改修費の2分の1を助成することとした。平成24年度は市の補助割合を2分の1から3分の1に戻したが、県費補助3分の1の採択を受け、2商店会のLED化を実現し、電気料金の軽減を図った。平成26年度は初石駅前商店会が国の直接補助を受け、50基のLED化を実現した。この結果、LED化が終了していない商店会は4団体となっている。（うち、2商店会は省エネ化を実施している。）
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,537,000	1,010,500	1,087,200				
事業費(b)(円)	784,000	324,000	416,000				
うち一般財源	784,000	324,000	416,000				
職員給与費(c)(円)	753,000	686,500	671,200				
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	商業の振興と環境保護のため、街路灯等のLED化を促進する。また、商店街の安心安全の向上ため、防犯カメラの設置を促進する。	③取組の課題	商店街の会員減少などにより、共同施設の維持管理が負担となっている。
②今年度(H29)に実施した取組	老朽化が進む街路灯の修繕及び防犯カメラの設置の補助を行った。	④今後(H30以降)の改善計画	商店会の負担軽減のため、H30年度より市内12商店街の街路灯を市に移管する。